



syoun



5

2014 May

No.502

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

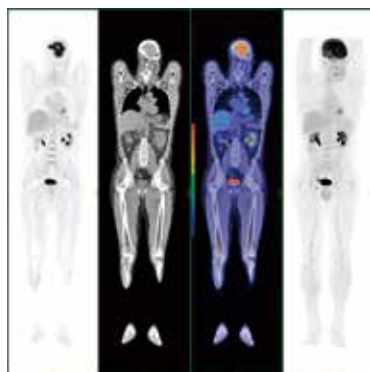
社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

画像診断センター長着任



PET-CT 画像



PET-CT



MRI 心臓画像

初めまして。4月1日付けで人吉医療センター、画像診断センターに赴任しました米永和真と申します。専門は放射線画像診断一般で皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

さて、当院は画像診断装置としてCT、MRI、RI、PET、血管造影装置が導入されており、一般的な検査はほぼすべて行うことが可能です。

CTは64列マルチスライスCTで、高速で広い範囲を撮影することができます。CTは空間分解能が0.625mmと高い上に時間分解能も向上したことにより、心臓の冠動脈を含め全身の血管を非侵襲的に評価することが可能となっています。

MRIは3Tと1.5Tの2台体制です。MRIはもともと高いコントラスト分解能があり、脳梗塞の評価や腫瘍などの内部性状評価に優れています。これに加え3T装置は高い信号を得られるため空間分解能が向上し、頭部や四肢などで特にきれいな画像が得られます。穿通枝などの微小な血管や関節軟骨の描出が1.5Tよりもさらに良好になっています。一方で呼吸や心臓、

腸管などの動きの影響を比較的受けやすいため、1.5T装置も必要に応じて使い分けております。

PET-CTは熊本県の中でも新しく、きれいな画像を撮像することができます。CTやMRIは形態診断が主ですが、PETでは糖代謝をみることで腫瘍の機能的な評価を行うことが可能です。特に癌の患者さんにおいては病期を評価する上でしばしば必要となる検査で、癌治療において重要な役割を担っています。

血管造影装置はシングルプレーンではありますが、CT様の画像を撮像することができ、血管造影時に3次的に評価できることにより治療精度の向上に寄与しています。

これらの診断装置を駆使し、よりよい画像を撮像することでの的確な診断を行い、患者さんの治療に役立っていければと思います。これからも画像診断センター一同頑張っていきますので宜しくお願いいたします。



画像診断センター 医員 米永 和真

人吉医療センター総合診療後期研修医募集！！

新しいJCHO病院グループでは高齢化社会における多様なニーズに応えるため地域包括ケアと総合診療医の育成に取り組むことをあげています。当院は、その取り組みの一つとして日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療後期研修プログラム Ver.2.0の2コースのプログラムを申請し、このたび認定されましたのでお知らせいたします。これに伴い総合診療医専門医資格取得をめざす後期研修医の募集を行っています。認定期間は2014年4月から2019年3月までの5年間、研修期間は3年間、人吉研修後の各々の描く医師像に合わせ、病院総合医や診療所の家庭医など様々なケースを想定して総合診療医の養成に取り組み、地域に求められる医療に応えることができるよう努めていきます。

プログラムの紹介

I. JCHOグループ内で協力し福岡県のJCHO九州病院とともに研修するプログラム

プログラム名：人吉医療センター総合診療医養成プログラム
(研修施設：人吉医療センター・JCHO九州病院・公立多良木病院・五木村診療所)

II. 人吉球磨地域その他この地域でも活躍できる総合診療医を目指すプログラム（医療圏域内で完結するプログラム）

プログラム名：人吉くま川プログラム
(研修施設：人吉医療センター・公立多良木病院・五木村診療所)

プログラム責任者：田浦 尚宏（救急総合診療部長）

第5回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

先日5月10日・11日に岡山で開催された「第5回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会」に参加してきました。日本プライマリ・ケア連合学会は「人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切に、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行う」ことを目的として、会員層や理念が少しずつ異なる3学会（旧）日本プライマリ・ケア学会、（旧）日本家庭医療学会、（旧）日本総合診療医学会が合併して2010年に設立しました。2017年から「総合診療医」が19番目の基本診療科として追加される予定であり、主要な学会や日本医師会と共に新専門医制度の構築に関わっており、学会に対する関心が年々高まってきています。

この学会には、医師、看護師、薬剤師、栄養士、歯科医師、学生、行政関係の方々など、多くの職種の方が活動に参加しています。学術大会の中では、学術のみではなく「ヘルスケアシステムをどうするのか」など、プライマリ・ケア領域の課題を追求するようなセッションも多く、ワールドカフェやワークショップなど、他の学会とくらべて一風変わった形式のセッションが存在することも特徴の一つと言えます。

また、参加者には若手も多く、過去学術大会の中には、学生

講師によるセッションが存在しています。毎年夏には、学生・研修医の有志がスタッフとなり家庭医療学夏期セミナーを開催し、昨年度は申し込み開始4日で参加者210名の枠が埋まってしまいうなど、プライマリ・ケア領域に対する関心の高さが伺えます。

一方で、長い歴史の中で築かれた医療のシステム体系が、地域毎にあります。新専門医制度に向けて準備を進めていく中で、「総合医と専門医どちらが大事か」といった話が引き合いに出されることがありますが、それは命題にすることで対立構造があるように見えてしまう「問い方のマジック」であり、考えるべきは高齢社会における様々な課題のための対応と、その後に来る社会像に向かって、文脈性のある形で総合診療「専門医」と各科「専門医」の役割を活かしながら、その地域にあった医療をデザインすることではないかと思っています。

私は、この学術大会に学生の頃から出席しており、今年で4回目となりました。この学術大会は学び・研鑽の場としてだけでなく、プライマリ・ケア領域を専門とする・関心のある多地域・多職種の方々とのつながりの場、これまで御世話になった先生方・同期・後輩にお会いできる場となっており、大変実りある時間を過ごすことが出来ました。今回の学びを糧に、私自身が、地域住民とのつながりを大切に、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践に貢献できるように、日々の診療・キャリア形成に励んでいきたいと思っています。

協力型臨床研修医 香田 将英

独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター

研修医募集

初期臨床研修医 募集

地域に密着した救急・がん診療・その他幅広い分野の多数の症例を経験できます。

募集人員 2名から4名へ増員予定
応募資格 既卒者または平成27年3月卒業見込みの方
応募締切 平成26年8月末日
選考方法 書類審査、面接

日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム研修医 募集

幅広い領域の疾病について適切な初期対応と、必要に応じた全人医療を修練する総合診療医養成プログラムです。

募集人員 人吉総合病院総合診療医養成プログラム 2名
人吉くま川プログラム 2名
応募資格 初期研修を修了（見込み）の方等
応募締切 毎年1月末日
選考方法 書類審査、面接

お問い合わせ先【独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター】

〒868-8555 熊本県人吉市老神町35 Tel: 0966-22-2191 E-mail: main@hitoyoshi.jcho.go.jp

臨床研修医挨拶



研修医1年目の小川晋太郎です。今春熊本大学を卒業し、人吉医療センターで2年間研修させていただくことになりました。4月は西村先生指導のもと、麻酔科で勉強させていただきました。マスク換気、挿管、A-line確保など他の科では経験できない多くの手技を経験できました。同時に麻酔科医の術中の管理や対応など多くのこと

を教えていただき、毎日楽しく研修しています。

また4月からさっそく救急外来での日直、当直を通して問診や初期対応等、医師としての基本を実地で勉強させていただいております。2年目研修医の救急外来でのスムーズな動きに驚くと同時に、1年後私も先輩のようになりたいと強く思いました。

皆様のご指導なくして、医師としての成長は有り得ません。ご迷惑をおかけすること多いかと思いますが、今後とも何卒宜しくお願い致します。

基幹型臨床研修医 小川 晋太郎



4月より人吉医療センターで初期研修をさせていただくことになりました、基幹型研修医1年目の堀川学と申します。はじめのひと月は整形外科でお世話になっておりましたが、本当に右も左もわからず目を回している毎日です。先生方はじめ、スタッフの皆様には多大なるご迷惑やご心配をおかけしていることと思いますが、寛大なお心でご指導頂き、厳しく見守っていただければ幸いです。

当院には学生時代にも実習でお世話になりました。人吉は個人的に大好きな街なので、その時の感想文にもここで勉強できたらいいな、など書いた覚えがあります。お陰様で夢叶い、社会人としての一歩をこの地、この病院で踏み出せたことを本当に光榮に思っております。何もわからぬ若輩者ゆえ至らぬ点も多いかとは思いますが、精一杯尽力してまいりますのでどうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

基幹型臨床研修医 堀川 学



4月から1年間人吉医療センターに務めます、研修医1年目の香田将英と申します。現行の初期研修医制度では、最初から一科に絞るのではなく、スーパーローテート方式といって、2年間満遍なく各科を研修していきます。最初の節目となるこの1年を、人吉の地で過ごせることを大変嬉しく感じております。早く新しい環境に慣れたいと思う反面、慣れとともに付いてくるのが、慢心や怠慢であると言われております。「実るほど頭

を垂れる稲穂かな」と言葉があるように、最初は何も出来ない研修医から、次第に出来ることが増えてきても、実れば実るほど、穂先を垂れ、頭を下げる、稲穂のように、出来ることが増えれば増えるほど、謙虚さを忘れない1年間を過ごしていきたいと思います。きっと、最初は分からないことだらけです。それでも、医療の現場で働ける環境に感謝して、一步一步確実に、一所懸命努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

協力型臨床研修医 香田 将英

五木村診療所 医療用画像管理システム導入



診療所に新たにデジタル式のレントゲン撮影装置を導入しました。フィルムが不要になっただけでなく、診療所で撮影した画像データを人吉医療センターのコンピューターへ取り込むことができるようになりました。これにより骨折等が疑われる場合、人吉医療センターの専門医に画像を診てもらいながら診断できるようになります。

今後も五木村の皆さんが安心して生活することができるよう頑張りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

五木村診療所所長 中山 剛

輸血後感染症検査について

輸血血液は安全性を確保するため、感染原因となるウイルス検査などさまざまな措置が講じられています。しかしながら、最新の検査法に基づいて安全対策がなされたとしても、感染被害を完全になくすことはできません。そこで、平成16年4月1日、生物由来製品感染等被害救済制度が創設されました。輸血血液を適正に使用したにも関わらず、その製品が原因で感染症等にかかり、健康被害を受けられた方を迅速に救済するため、医療費、

医療手当、障害年金などの給付を行う制度です。万が一、輸血によって何らかの病原ウイルスに感染した場合、上記制度で救済を受けるためには輸血前後の感染症検査が必要となってきます。そのため輸血を受けてから約2～3ヶ月後に再度来院していただき、採血、検査を受けていただく必要があります。

当院では対象となられる患者さんへ検査についてのご案内を行っております。もし、何かご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

臨床検査部・外来予約センター
0966-22-2191・0966-22-7878

実習を終えて

今回は地域医療実習として4日間、人吉医療センターでお世話になりました。地域医療の特徴や、人吉での医療の雰囲気を知ることを目的に実習に臨み、医療センターでの業務や訪問看護・診療、五木村診療所などを見学させていただきました。

人吉は高齢化率30%、五木村は44.4%ということで、患者さんはご高齢の方が多いです。そのため、患者さんが「どこから来たのか」が重要であると教えていただきました。つまり患者さんの帰宅後のことを考える必要があり、自宅の場所によって医療センターまでの距離や、フォローする医師がいるかなどが違ってくるということでした。その他にも家族構成など、高齢者に対してはとりわけ社会的背景の把握が重要であると学びました。

また、患者さんによっては熊本市内まで通院できない、ま

今回は特別臨床実習の一環として、4月28日～5月2日の期間人吉医療センターで実習をさせていただきました。

さて、何故私が人吉医療センターでの実習を希望したのかと言いますと、元々あるご縁があり、約1年の1回のペースで人吉に来ていました。それは私が中学生の頃から始まっていて、大学6年になった今でも続いている家族の恒例行事となっております。そんなこともあり、人吉は自分にとってとても親近感の湧く土地になっていました。実習では4つの病院から3つ選んで実習を行うのですが、まず始めに行くと決めたのがこの人吉医療センターです。

実習では五木村診療所での診察や救急外来での診療などを見学させていただきましたが、一番印象に残っているのは訪問看護・診療の見学です。

どの患者さんにもそれぞれの家庭環境や背景があり、それに合わせた看護・介護の必要性があるということをほんの少

たはそれを望まない場合があるということでした。そのため人吉の医師が専門外の疾患も診ること、先進的な治療を人吉で行うことが求められます。地域の医療現場においてはジェネラリストであることや、先進的なことを常に取り入れる姿勢が求められているように感じました。以上のような学びを得たことは大きな収穫でした。

今回初めて人吉に滞在したのですが、きれいな川を挟んでお店や神社が立ち並び、温泉や美味しい物もたくさんあるとても雰囲気の良い所でした。人々は温かく、地域を良くしようという団結力があるところも素敵でした。またぜひ人吉を訪れたいです。ご指導ありがとうございました。

熊本大学医学部医学科6年 中邑 咲



左から 中邑さん、木村病院長、山中さん

しだけではありますが、肌で感じるものが出来ました。医療というものは病気を治すことだけでなくその人の生活、人生も含んで行っていかなければならないということを学べた実習でした。

上記のことを始め、今回の実習で学んだことは、今の自分にはまだまだ扱いきれないことかと思っています。しかし、これから先勉強し経験を積むことで学んだことを活かせるような医療人になりたいと思っています。

最後になりますが、この実習は田浦先生をはじめとする数多くの先生方、スタッフの方々にお世話になりました。また、実習だけでなく人吉の美味しい御飯やお酒と温泉などもお世話になり、本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。皆様にはこの場を借りて心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

熊本大学医学部医学科6年 山中 達郎

【セカンドオピニオン】をご存知ですか？

セカンドオピニオンとは、現在治療を受けている医療機関とは別の医療機関に治療に関する意見やアドバイスの提供を受けることを言います。人吉医療センターでは患者さんがご自身の治療に充分に納得して治療を受けていただくことができるようにセカンドオピニオン外来を設けております。当院におかかりの患者さんが治療に関して他の医療機関の先生の意見を求めることも、他の医療機関におかかりの患者さんに当院の医師が意見を提供することも、どちらも可能です。

「セカンドオピニオンの話をしたら先生が嫌がるのではないか?」、「かかっている病院に失礼ではないか?」と遠慮して、不安を抱えたまま治療を受け続けることは患者さんと医療者の信頼関係を築く妨げとなります。

当院では、患者さんが治療の選択に迷われているときには、医療者の側からセカンドオピニオンの説明をさせていただきます。

セカンドオピニオン外来を開設した2006年度は他医療

機関へのセカンドオピニオン依頼件数、当院からのセカンドオピニオン提供件数を併せても3件でしたが、2013年度にはセカンドオピニオン依頼件数13件、セカンドオピニオン提供件数11件、合計24件となっており、セカンドオピニオンという考え方が少しずつ浸透していることが伺われます。

セカンドオピニオンは、治療や転医を目的とはしておりませんので、新たな検査、処方を行わず、基本的には保険診療外となります。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

また、当院では患者さんの「治療を選択する権利」を尊重しております。医療に関する患者さんの意思を表示するカード（輸血拒否宣言書、終末期宣言書など）をお持ちである場合には職員までお申し出下さい。医療に関する意思を表示するカード、「臓器移植意思表示カード」、「尊厳死宣言書」は受付にも備えておりますので、ご用命の方は職員へお申し付けください。

セカンドオピニオン外来（※要予約）

所要時間：約1時間

料 金：5,000円（30分以上の場合、30分毎に延長料金5,000円）

予約センターTEL 22-1900 または TEL 22-7878 へお電話ください

医療福祉連携室

看護師病院見学会

5月3日、お城まつりの日に「看護師病院見学会」を実施しました。

今回は、熊本市内の看護学生4人と保護者1名、教務1名を含む6人の方の参加がありました。

新しくなった各病棟とヘリポートを見学した後、2階図書館で当院の看護教育体制について藤村師長より説明や7F看護師の遠坂さんから就職2年目の活動発表をしました。その後、井手看護部長と植木師長を含めた質疑応答の対談を行い終了しました。



わたしは、当院の若い看護師2名と案内係を担当し、楽しく病院内の案内をしました。

案内中に同行の教務の先生より「学生は、ブランドで病院を選んでしまう傾向にあるけれど、辞めてしまう看護師が半数いる。辞めるだけではなく、もう看護師はしないところを痛める看護師もたくさんいるのが現状である。ここは、卒後教育だけでなく、スタッフが温かく見守ってくれ、成長していける、自分もお勤めの病院である」と宣伝して下さいました。感謝します。

新人の頃を思い浮かべ、29年が経ってしまったことを実感しましたが、やはりこの病院が好きで温かい環境の中で仕事させていただいていることにあらためて感謝します。

自信をもって、みんなに薦めたい病院です。今回おいでいただいた4人の方と是非、来年一緒に働いていますように願っております。

8階病棟 看護師長 上野 明美

【ふれあいの記】

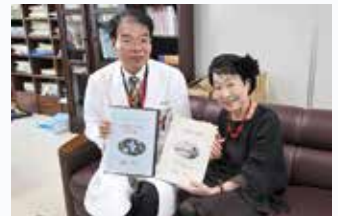
～院内レクリエーションの記録～

当院では院内ボランティアによる川柳、塗り絵、アロマ教室など、毎週木曜日に週替わりで、院内レクリエーションを開催しております。多くの皆様にご参加いただき、今年で9年を迎えました。昨年に引き続き、平成25年4月から平成26年3月までの一年間の院内レクリエーションの記録【ふれあいの記】と、写真集【ふれあいの日】を今年も一冊の本としてまとめました。

待ちこがれた春の訪れ、春ともなれば、花ひらき、天

地の恵みを素直に受けて、小さい花は小さいなりに、大きい花は大きいなりに、かれんな色どり、けんらんたる装い、精いっぱい、恵みいっぱいの、喜びを咲き誇っているようです。

新年度も春のリズムと共にスタート致しました・・・毎週、患者の皆様に寄り添いながらのドラマのひとつ、ひとときに、一瞬の感動と喜びを実感しています。



ボランティア 梶原 章子

シリーズ ヨーガ Vol.2

ヨーガで“ゆるやか、和やか、心地よか”

ヨーガの体位は星の数ほどあるといわれています。一説では八万四千、これを凝縮して八十四、更に絞って三十二。この三十二の体位を行うことも大変です。そこで更に絞って「三つ」。それは「前屈」「反り」「ねじり」です。最小限に絞った三つの体位を行いますと、体の要であり土台である腰がしっかりします。

ヨーガの体操をサンスクリット語で「アーサナ」と言います。「坐る」という意味です。一つのポーズができたらその体位をできるだけ長い時間保ちます。最初五秒位から初めて、少しずつ長くしていきます。その時どの体操にも共通して言えることは、安定感があって、無理がないように保つことです。保持している時は意識を体に向



け、体の内面を観察し、対話します。そうすることで何よりも大切な自分の体がよく解って、体との付き合い方が上手になり、病気を未然にふせぎ、体の中から生きる力が湧いてきます。

参考本：「しあわせヨーガ」、「ヨーガ入門」

日本ヨーガ禅道友会教師

(社)日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士
菊池 純子

(当院では毎月1回菊池先生のご指導の下、ヨーガ教室を開いて頂き、院内外より参加させていただいております。ご興味のある方はぜひご参加ください)

人吉ロータリークラブ職場訪問例会

平成26年4月25日12時30分から当院講堂において国際ロータリー第2720地区人吉ロータリークラブ職場訪問例会が開催されました。

昨年新しく本館棟ができ、今年度JCHO（地域医療機能推進機構）となり、地域の中核病院として今後も邁進して参ります。クラブ会員44名の皆様、ご来院有難うございました。



笑って健康促進！
第100回 翔句会開催！

平成二十六年四月開催分の句をご紹介します。
どうぞ鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十六年四月分

- 宜しくと車に頼みドライブに
- うぐいすの今年の声は鐘連打
- カーナビが都会の孫を連れて来た
- ランドセル小さい背中にせおわれて
- 新人生おててつないで登下校
- 桜散る感傷押しのけ次つじ
- 初孫は三代目同じ校舎で晴れ姿
- 賞味期限切れても俺たちや超元氣
- 夢つめて祖父母が贈るランドセル
- 入学の子よりピカピカママおしゃれ
- 服装も初々しいねニューフェイス
- 介護する私も又新人なり
- 同士の会十人十色で花が咲く
- 外出に手押車は良き伴侶
- ランドセル夢一ぱいを背負つて
- 流し雛球磨の流れに乗る別れ

レ イ レ イ カ ッ 子 カ ッ 子 保 義 保 義 健 二 郎 健 二 郎 圭 子 圭 子 智 子 智 子 佐 津 子 佐 津 子 比 呂 志 緋 紗

次回も第四木曜日に本館二階図書室で開催致します。
ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

お城まつり

今回5月3日(土)に行われた人吉お城まつり大パレードに初めて参加しました。

お城まつりは見るのも初めてだったのでパレードと言われてもあまりどういうものか想像できませんでした。パレードの前にはパーベキューもあり普段接することができない職員の方ともお話で楽しい時間を過ごすことができました。食事もしっかり着き、男性職員の女装やオレンジの法被を着ての「球磨の六調子」の練習、風船を持っての大移動が始まると思っていたよりも大規模で少し緊張しました。しかし、実際始まってみると踊りについていくのがやっとで緊張どころではありませんでした。祭りの雰囲気にも慣れ院長の「H・M・C」の掛け声でポーズをとる頃には笑顔でパレードを楽しむことができました。



風船を渡すと喜ばれ、H・M・Cのポーズを真似して頂いたり、地域の方々の笑顔が身近に感じることができたお城まつりでした。

経理課 尾方 麻衣子

部活動紹介

ソフトボール部

人吉医療センターソフトボール部です。当院のソフトボール部は男女合わせて約25名の部員で和気あいあいとやっています。主に人吉市職場ナイターソフトボール大会、労働基準監督署主催の大会、系列病院である大分の南海医療センターとの交流試合、女子では熊日レディース大会に出場しています。

現在は6月初旬より職場ナイターが始まりますのでそれに向けて小学校のグラウンドにて練習をしています。今年は野球の名門校出身の新人も加わり何とか一勝できるかな、と期待しているところです。しかし勝ち負けにはあまりこだわらず楽しくソフトボール(反省会含む)をすることを目的としておりますので、老若男女、初心者、経験者問わず興味がある方はぜひ一声かけて下さい。Enjoy Play !!

リハビリテーションセンター 理学療法士 田上 智久

当院各部署メールアドレスの変更について

4月より当院の運営主体の移行に伴い、今までお使い頂いていた当院のメールアドレス(●●@hitoyoshi-hp.com)が6月より使用できなくなりますのでお知らせいたします。新しいメールアドレスについては、各部署よりご連絡させていただきます。ご迷惑をおかけ致しますが、ご確認の程よろしくお願い致します。

5月のフレッシュマンセミナー報告

- 5/8 中村なつき「尿素呼吸試験について」
- 5/15 福島奈穂子「転勤先での経験について」
- 5/22 平古場ひとみ「血液型性格判断」
- 5/29 丸尾美帆「おいしく美肌グリーンスムージー」

5月の勉強会報告

5月8日(木)第76回 消化器カンファレンス

1. 「同時性多発小腸転移が疑われた多発結腸癌の1例」
人吉医療センター 臨床研修医(協力型) 木村 俊寛先生
2. 「短期間で形態変化を来した胃癌の一例」
人吉医療センター 消化器内科 部長 大谷 響先生

